

# 特定外来生物 **オオキンケイギク**

を見かけたら連絡をください。

※ ただちに除草する訳ではありません。



**この植物を植えたり、  
広げないようにご協力ください。**

オオキンケイギクは、国外から輸入された外来植物です。繁殖力がとても強いので、外来生物法により、栽培や運搬、販売が禁止されています。市では、あきる野市本来の自然の豊かさ（生物多様性）を守るために、市民の皆様にご協力をお願いします。

**① 「どこに生えているか」をご連絡ください。**

**② ご自宅に生えていたら「除草」してください。**

<イメージ>



繁殖して、  
大群落を作ります



**NO MORE !!  
大繁殖!**

■連絡・問合せ/あきる野市 環境政策課 環境政策係■

☎ 042-595-1110(直通/平日 8:30~17:15)

✉ 040601@akiruno-info.tokyo.jp(写真は1MB まで)

## オオキンケイギクの見分け方



5～6月頃に、鮮やかな黄色の花をつける。



高さ30～70cm。  
株ごとに束状に増える。



葉は、初期は細長いへら状で、生長が進むと3～5枚の小葉に分裂する。表裏に粗い毛が生えている。



以前はよく植えられていたが、平成18年以降、種や苗は販売されていない。

### 関連サイト

①オオキンケイギクの説明

[http://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/m\\_23.html](http://kyushu.env.go.jp/wildlife/mat/m_23.html)

②外来生物法の説明

<http://www.env.go.jp/nature/intro/>

①九州地方環境事務所

外来生物対策のホームページ

②環境省

外来生物法のホームページ

## オオキンケイギクの除草方法

オオキンケイギクは、同じ株から何年も花を咲かせる多年草です。「種」だけでなく「根」や「茎」からも繁殖します。そのため、「種ができる前に花を刈り取ること」と、「植物を根ごと引き抜くこと」の両方を繰り返し行うと効果的です。

花・茎は枯れ、地表面に葉だけが残ります。



冬・春



5～6月頃

花が枯れたあと、種をつけます。



7月頃

外来生物法により、生きたままの移動や保管が禁止されているため、数日間天日にさらすなどして枯死させてから、通常の可燃ごみと一緒に袋に入れて捨ててください。